

防犯

だより

vol.74

防犯専門官

山田 英明
やまだ ひであき

侵入盗への備え

泥棒は窃盗のプロ

窃盗と言ってもその手口は、出来心で行った万引きのようなものから、再犯率が約50%で、侵入盗を繰り返す「プロの泥棒」まで多様です。

そして、プロの泥棒は犯行の際には、犯人と分からないように、捕まらないようにと考え、行動しています。つまり完全犯罪を狙っているのです。そうできないと何件も犯行を重ねることはできません。そのため犯行前に現場の下見を入念に行います。



下見のポイント

見つけにくい逃げやすい

- ・建物に死角があり、表や隣近所から潜んでいる場所や破壊した侵入口が見えない。
- ・近くに警察署・交番がない。
- ・警備会社のステッカーを貼っていない。
- ・勝手口の見通しが良くない。
- ・近所の状況はどうか。
- ・などをチェックします。

侵入口が破りやすい

- ・ドアが二重ロックになっていない、ピッキングしやすい鍵である。
- ・窓はクレセント錠だけ、ガラスに防犯シートが貼られていない。
- ・2階のバルコニーや窓への足場がある。(雨どい、カーポート、塀など)
- ・面格子のない窓がある。

泥棒が好む環境

- ・付近は人通りが少なく、人目につきにくい。
 - ・街灯が少なく、暗がりが多い街並み。
 - ・防犯看板などが古びたまま
- で防犯意識が感じられない地域。

泥棒が好む住宅

- ・新聞受けに新聞や郵便物がたまっている家。

- ・夜になっても洗濯物が干しっぱなしになっていたり、室内照明や外灯がついていない家。

など、細心の注意を払って下見をしていますので、これらを打ち消す対策をとってください。

侵入経路

泥棒の侵入経路は、泥棒ごとにご得意な場所があります。窓からが約6割、出入り口からが約3割となっています。また、戸締りをし忘れたところからの侵入も少なくありません。



泥棒が嫌う「音、光、目」で間接的防衛

これまでの泥棒の取り調べなどから、彼らは音、光、人

の目などを嫌うことが分かっています。

・音
(具体例) 砂利や警報音



・光
(具体例) センサーライト



・目
(具体例) 防犯カメラ



これらは一例ですが、音、光、目を準備して泥棒を近づけないようにしてください。



筑紫野警察署からのお知らせ ～太宰府市・筑紫野市で侵入盗が多発しています～

いつあなたの家が狙われるかわかりません。

悪いのは犯人ですが、被害を防ぐためには自らできる防犯対策を行いましょう!



～被害に遭わないために～

- ①「戸締りは確実に!」
- ②「窓ガラスには二重ロックを!」
- ③「照明や防犯カメラの設置を!」

不審者を見かけた際は110番!

「地域の目」で「安心安全な街」にしましょう!



筑紫野警察署 ☎ (929) 0110